

令和8年3月31日

令和7年度 東京都立荒川工科高等学校 全日制課程 学校経営報告

東京都立荒川工科高等学校長
長 田 学

1 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策に対する成果と課題

ア 学習指導の充実・工夫

【成果】

- (ア) 習熟度別学習形態による指導を充実させ、学力の向上を図った(国語・数学・英語で実施)。
- (イ) オンラインを活用し、個に応じたきめ細かな指導を実施した。
- (ウ) 全教職員の90%以上がICT機器を積極的に活用した。
- (エ) 新聞・読書推進週間を教科横断的に実施した。
- (オ) 「課題研究」において、各科で発表会を実施した。
- (カ) 日本語指導を必要とする生徒の支援に外部人材を活用した。

【課題】

- (ア) 生徒の実態に即した基礎的・基本的な学力の定着を図る必要がある。
- (イ) 企業と連携した授業(知の連携)の実施を拡大する必要がある。
- (ウ) PBLの取組を全教科で推進する必要がある。
- (エ) 全教科におけるオンライン学習指導の充実を図る必要がある。

イ 進路指導の充実・工夫

【成果】

- (ア) マイキャリアノートを作成し3年間を通した進路指導計画を確実に実施した。
- (イ) 求人票のオンライン化により生徒保護者との迅速な共有を行い、企業見学や採用面接に適切に対応した。
- (ウ) Tokyo P-TECH 関係企業との連携により、マナーやコミュニケーション能力の向上を図った。
- (エ) 工業3科が連携し、資格取得・検定合格を目指した補講・補習を実施した。

【課題】

- (ア) 校外での進路行事の実施および、企業や専門学校等との外部連携の強化が求められる。
- (イ) オンライン企業説明会への参加体制や、オンライン面接に向けた準備体制の整備が必要である。
- (ウ) 企業と連携した進路ガイダンスのさらなる充実が求められる。

ウ 生活指導の充実・工夫

【成果】

- (ア) 生徒の規範意識向上に向け、統一指導および巡回指導を徹底し、授業規律の確立を図った。
- (イ) 始業式・終業式等の機会を通して、SNS活用に関する注意喚起を適宜行った。
- (ウ) 遅刻・欠席時には家庭への連絡を徹底し、粘り強く指導を行った。
- (エ) 教育相談委員会を計画的に実施し、教育相談センターと連携した校内研修を実現した。
- (オ) いじめアンケートを年3回実施し、いじめ案件に対応し解消できた。

【課題】

- (ア)チャイムによる始業・終業の徹底および、授業準備を休み時間に行う指導の徹底が課題である。
- (イ)セーフティ教室など学校行事による生徒への注意喚起をより充実させる必要がある。
- (ウ)特別な支援を必要とする生徒および保護者への支援体制を強化する必要がある。

エ 特別活動・部活動の充実・工夫

【成果】

- (ア)教科「人間と社会」において、通年のボランティア活動を実施した。
- (イ)生徒会活動の活性化のため、球技大会を生徒会主催で実施した。
- (ウ)学年ごとに工夫し、球技大会等を通してクラスの親睦を深める特別活動を実施した。

【課題】

- (ア)教科「人間と社会」における地域関係団体との連携強化と安全確保が必要である。
- (イ)「知の連携」を活用した学校行事の充実を図る必要がある。
- (ウ)部活動の活性化に向けた方策を検討する必要がある。
- (エ)道徳教育を充実させ、人権について意識付けをする必要がある。

オ 健康づくりの啓発

【成果】

- (ア)組織体制の強化を図った。

【課題】

- (ア)生徒の安心・安全を確保する取組の強化が求められる。
- (イ)生徒の健全育成に向けた保護者との連携をさらに強化する必要がある。
- (ウ)教育相談体制の確立に向け、特別支援コーディネーターとの連携強化が必要である。

カ 生徒募集活動・学校広報活動の充実・工夫

【成果】

- (ア)近隣中学校校長会において、本校の生徒募集活動・学校広報活動を充実させた。
- (イ)学校案内を刷新した。

【課題】

- (ア)学級減に伴う文化祭の在り方の検討および、地域祭りにおける魅力発信方法の検討が必要である。
- (イ)本校のオンライン学習支援について、受検生および保護者への理解促進を図る必要がある。

キ 学校経営・組織体制の改善・充実

【成果】

- (ア)学級減に伴い課題解決意識が向上し、学校ビジョンの共通理解が進んだ。
- (イ)経営企画室との連携を強化し、事務処理の円滑化を図った。
- (ウ)体罰ゼロを維持し、いじめ及び体罰防止アンケートを適切に実施した。
- (エ)個人情報紛失・流出事故ゼロを達成した。
- (オ)学校評価アンケートを実施した。

【課題】

- (ア)学級減に対する組織的な対応が求められる。

(イ) 多様化する ICT 関連業務に対し、組織として対応する体制整備が必要である。

(ウ) 定時制課程との協働体制の構築が課題である。

(2) 重点目標と方策

ア 学校課題解決に向けたチーム力の強化

| 重点目標 | 方策及び具体的な取組 | 数値目標 | 達成:○ 未達成:× |
|---------------------------|--------------------------------------|------------------|-------------------------|
| 課題解決に向けたチーム力の向上とチーム効力感の情勢 | 服務事故防止研修 | 年3回以上 | ○:3回実施 |
| | 個人情報管理徹底を目的とした校内研修 | 年2回以上 | ○:2回実施 |
| | 定時制課程との協働連絡会 | 随時 | ○:適宜実施 |
| 地域とのパートナーシップの確立 | 都立学校開放事業、地域の祭り、保育・障がい者施設等のボランティア活動 | 年5回以上 | ○:5回実施 |
| ライフ・ワーク・バランスの推進と業務の効率化 | マイクロソフトオフィス365の活用 閉庁日の設定や計画的な年休取得 | 在校時間月60時間超えの教員ゼロ | ×:時間超過勤務教員あり ○:閉庁日実施 |

イ 学習課題の把握と授業力の向上

| 重点目標 | 方策及び具体的な取組 | 数値目標 | 達成:○ 未達成:× |
|----------------------------|---|--------------|----------------------|
| 企業等との「知の連携」の推進 | 授業内における企業等との連携指導 | 各科3回以上計9回 | ×:0回 |
| 生徒の基礎学力を把握 | 個に応じたきめ細かな指導 | 学力不振中途退学者0名 | ×:2名 |
| | 生徒理解を目的のケース会議実施 | 各学期1回以上実施 | ○:3回実施 |
| 授業改善の組織体制を構築 | ICT機器等を活用した授業の実施 | 各教科計画的に実施 | ○:全教科実施 |
| | 教師道場、研究員制度、若手教員研修を活用した研究授業や校内研修を実施 | 各学期1回 | ○:3回実施 |
| 新しい価値を創造する力を育む教育を工夫・改善して推進 | 「課題研究」「実習」及び「拠点校実習」では、科学的探究力の育成について成果をまとめ、主体的・対話的な深い学びへとつなげる。 | 発表機会を設定 | ○:課題研究 各科による発表会実施 |
| 学校図書館や読書週間を活用した読解力の育成 | 教科横断的に授業の中で図書館を活用した調べ学習を実施する。 | 不読率を50%以下 | ×:不読率 75% |
| より良い生き方を主体的に選択して行動する力の育成 | 地域や関係機関と連携し、教科「人間と社会」の指導内容・方法を工夫改善 | 各章における発表会の実施 | ○:全校生徒参加による発表会実施 |

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|-----------|--------|
| 英会話コミュニケーション能力の育成 | 基礎的な学習を繰り返し、英語に対する苦手意識を払拭させる。 | 英検受験者5名以上 | ○:8名受検 |
|-------------------|-------------------------------|-----------|--------|

ウ キャリア教育の充実と免許・資格の取得・合格

| 重点目標 | 方策及び具体的な取組 | 数値目標 | 達成:○ 未達成:× |
|-------------------------------|--------------------------------------|---------------|-----------------|
| 生徒一人ひとりの適性に 応じた進路希望の 実現 | 生徒一人一人の進路希望を把握する。 | 進路決定率 100% | ○:100% |
| | 生徒一人一人の能力を引き出す 就労支援 | 就職決定率 100% | ○:100% |
| | 外部講師を招聘し、社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を高める。 | 1回以上実施 | ○:実施 |
| | 第2学年でインターンシップを実施する。 | 1人1社以上 参加 | ○:実施 新規企業開拓 |
| | 工業系、電気系大学と連携した 出前講義 | 1回以上実施 | ×:未実施 |
| | 企業と連携した進路ガイダンスの 実施 | 年1回以上 | ○:1回実施 |
| 国家資格の合格 | 電気工事士(第一種、第二種) | 15名以上 | ○:20名以上合格 |
| | 特殊無線技士(第二級陸上特殊 無線技士) | 5名以上 | ×:0名 |
| 各種検定 | 英語検定への受検 | 5名以上 | ○:8名受検 |
| | 数学検定への受検 | 5名以上 | ×:0名 |
| | 情報技術検定への受検 | 30名以上 | ○:情報技術科 全員受検 |
| 各種制度の認定 | ジュニアマイスター顕彰制度 | 各科1名以上 | ×:電気科のみ 5名 |

エ 安全教育の推進

【成果】

荒川区との防災協定について再検討を開始した。

【課題】

地域の消防署や警察署との連携

オ 規範意識の向上と良好な人間関係構築

| 重点目標 | 方策及び具体的な取組 | 数値目標 | 達成:○ 未達成:× |
|----------------|----------------------|---------------|------------------|
| 生活指導の充実 | 頭髮服装指導 | 年3回以上 | △:各学期実施 |
| | SNS使用についてのホームルーム指導 | 年3回以上 | △:各学期実施 |
| 基本的生活習慣の 確立 | 登校時の校門指導 (皆勤者の増加) | 各クラス5人 以上 | △:皆勤者 全体で 20人 |
| | 粘り強い遅刻指導 | 1日当たり3人 以下 | ×:15名以上 |
| 教育相談体制の確立 | 教育相談委員会の実施 | 年3回以上 | ○:3回以上 |

| | | | |
|----------|------------------------------------|-------|-------|
| | | | 実施 |
| 問題行動未然防止 | 外部関係機関と連携したセーフティ教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室 | 問題行動0 | ×:10人 |

カ 生涯にわたる心身の健康の保持増進

| 重点目標 | 方策及び具体的な取組 | 数値目標 | 達成:○ 未達成:× |
|------------------------------|-------------------|----------|---------------|
| 学校保健計画に基づき、生徒の心身の関わる健康づくりの推進 | 薬物乱用防止教室 | 年1回以上 | ○:実施 |
| | 飲酒・喫煙防止教室 | 年1回以上 | ×:実施せず |
| | 感染症等の注意喚起と情報発信 | 時季に応じて実施 | ○:適切に実施 |
| | 食物アレルギーに関する校内研修実施 | 年間1回以上 | ○:適宜実施 |
| 健康に関する理解促進 | 専門家を招聘した講演会の実施 | 年1回以上 | ×:実施せず |

キ 特別活動・部活動の活性化

| 重点目標 | 方策及び具体的な取組 | 数値目標 | 達成:○ 未達成:× |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------|--------------------------------|
| 地域貢献活動の推進 | 地域と連携した事業を実施し、地域貢献を積極的に行う。 | 年3回以上 | ×:軽音部の校外演奏活動実施 |
| オリンピック・パラリンピックレガシー教育 | 各ボランティア活動へ積極的に参加させ、自発的な貢献力を育成する。 | 年1回以上 | ○:球技大会でのポッチャ、学年行事での車いすバスケットを実施 |
| 部活動の活性化 | 各種競技大会・コンテスト等への積極的参加 | 各部年2大会回以上参加申し込み | △:各部公式戦参加あり |
| | 文化・スポーツ等特別推薦を実施し、部活動に意欲ある生徒を確保する。 | 加入率80%以上 | ×:29% |
| | 生徒対象の熱中症防止研修等を実施し、安全指導の徹底を図る。 | 重大事故0 | ○:重大事故0 |

ク 専門高校の魅力を発信する広報活動と生徒募集対策

| 重点目標 | 方策及び具体的な取組 | 数値目標 | 達成:○ 未達成:× |
|---------------------------------|------------------|----------|---------------|
| 学校の魅力を効果的に発信する広報活動の推進と生徒募集対策の充実 | 在校生による母校訪問 | 生徒30名以上 | ○:実施(3年生) |
| | ホームページからの情報発信 | 年50回以上 | ○:200回 |
| | 工業3科を解説した学校案内の作成 | 7月末までに完成 | ○:7月末完成 |
| | 学校説明会 | 各3回以上 | ○:全て実施 |

| | | | |
|-------------|---------------------|-------|--------|
| | 授業公開 | | ×:2回実施 |
| | 体験入学 | | ×:2回実施 |
| | 小学生工作体験教室 | 年1回以上 | ○:実施 |
| | 中学校の教職員や塾教員を対象学校見学会 | | |
| 教職員による中学校訪問 | 年1回以上 | ○:実施 | |